

すみずみまで水を送りとどける 配水管

きれいになった水道水を、札幌のすみずみまで送りとどけるのが配水管の役わりです。

札幌市内にはりめぐらされた配水管すべてを1本につなげると、なんと札幌からインドまでとどく長さ(およそ6,000km)になります。

この配水管を新しく入れたり、古い配水管をとりかえたりするなど、いろいろな仕事があります。



配水管の工事

- 住宅が増えたところに配水管を新しく入れます。
- 古くなった配水管を新しいものにとりかえて、水もれをふせいだり、地震に強くしたりします。



配水管のそうじ

配水管を長く使っていると、管の内側にサビなどがつき、水がにごることがあります。これをふせぐため、消火栓から水をいきおいよく流してサビなどを洗い流し、管をきれいにします。



配水管の水もれ防止

配水管から水がもれると、大切な水がむだに流れてしまったり、道路や地面がくずれるなどの事故につながったりします。

このため、配水管の水もれを見つけるための調査を計画的に行っています。地中にうめてある配水管から水がもれる音をきいて場所を見つけ、修理します。



道路での調査のようす



水道メーターの調査のようす



水もれのようす



道路にあふれた水

